

第2回 GFF に関するセミナー  
“GFF in the COVID-19 Crisis”  
(新型コロナウイルス感染症危機と GFF)  
2020年8月28日(金) 午前8時~9時

報告書

JCIE は、モニーク・ブレダー GFF 事務局長をゲストスピーカーにお招きし、第2回となるグローバル・ファイナンス・ファシリティ (GFF) に関するセミナーをオンラインで開催しました。

GFF は、国連の持続可能な開発目標 (SDGs) の中でも取組みが遅れてきたゴールの一つである RMNCAH-N (性と生殖を含む母子、青少年の保健・栄養) の目標達成を加速させるため、より多くの資源を動員し、グローバル・国レベルの連携を強化することを目的として設立されました。

本セミナーには、関係省庁、二国間援助実施機関、NGO、アカデミア等から母子保健、栄養、保健財政分野の有識者 30 名が参加し、世界の中で最も脆弱な国々が新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 下で直面している課題と、それらの国々における「副次的な健康危機」から女性や子ども、青少年の命を救うための GFF の取組みについて、議論を交わしました。以下は、その主な内容です。

---

### GFF の背景と役割

ブレダー事務局長は、GFF の設立背景と最近の成果について、以下のように説明した。

- ・ GFF は現在、世界中で 36 カ国 (支援対象国 67 カ国中) を支援しており、基礎的な保健サービスの包括的な提供に重点を置いている。GFF は、サービス提供を阻害するシステム上の課題を分析し、効率性の向上や国内資源動員 (DRM) の追求により、持続可能な保健財政を目指している。
- ・ GFF のユニークな強みは、世界銀行の国際開発協会 (IDA) の融資プログラムとの連携を活用し、より大規模な資金を動員して現場の改善に繋げている点である。現在、GFF が提供する助成金と IDA による融資の比率はおよそ 1 対 8 となっている。つまり、GFF の助成金 1 円を受け取る毎に、IDA による 8 円の追加融資を受けられることになる。
- ・ また、GFF は、支援を受ける国の中で最も弱い立場にある母親や子どもに対するケアを拡大することで、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ (UHC) の達成を支援することを目的としている。

## **COVID-19に端を発した深刻な「副次的な健康危機」**

ブレダール事務局長は、2015年のGFF発足以来、GFFが活動を行っている多くの国で著しい進展が見られてきた一方で、COVID-19によって「副次的な健康危機」が引き起こされていることを強調した。

COVID-19下でより適切に各国を支援するため、GFFは、パンデミックによる影響を把握し、評価するための調査を迅速に実施した。その結果、少なくとも15カ国で、基礎的な保健サービスへのアクセスに大きな混乱が生じていることが判明した。例えば、リベリアでは、子どもに対する予防接種、妊婦健診、安全な出産に関連した重要なサービスを含む外来受診が4割も減少しており、ソマリアやマリでも同様の減少が認められた。さらに、深刻な経済打撃、学校教育の中断、ジェンダーに基づく暴力によって、より深刻な影響が女性や少女にもたらされている。一方、他の分析によれば、COVID-19による危機のために2,600万人もの女性が避妊法へのアクセスを失う可能性があり、その結果、GFFが支援している36カ国で800万件の望まない妊娠を引き起こすことが指摘されている。

## **COVID-19に対するGFFの対応**

ブレダール事務局長は、パンデミックに対するGFFの対応の中核的な要素を以下の通り説明した。

- ・ GFFは、保健システム強化（HSS）のアプローチに重点を留めつつ、基礎的なサービスの維持を優先し、子どもや青年、女性を保護するための対策を検討している。
- ・ GFFは、全ての支援対象国67カ国で、母子の健康への潜在的な影響を分析した国別報告書（Country Briefs）を各国の言語で作成し、オンラインで公開している。
- ・ GFFは、世界銀行の貧困担当チームと緊密に連携し、保健サービスへのアクセス阻害要因を分析し、適切な対応を設計している。
- ・ GFFはパートナー組織と協力して、最前線で活躍するコミュニティ・ヘルス・ワーカーのためのマスクや個人防護具（PPE）の現地生産を支援することで、必須医療物資の不足に対処している。
- ・ GFFは、現場でプログラムを継続するためのニーズと対応に取り組むため、実践的かつ行動に基づく、能力ベースの学習プログラム「サービス・デリバリー・ラーニング・プログラム」を開発している。既に3回のシリーズを終え、GFF事業実施国である36カ国の多くが参加した。
- ・ GFFは、保健システム強化に焦点を当てたACTアクセラレータ（Access to COVID-19 Tools Accelerator/ACT-A）の一員である。さらに、COVID-19の文脈で以下のパートナーと協力している。

- Global Action Plan (GAP) 強化パートナーシップにおける保健財政の側面で、Gavi ワクチン・アライアンス、世界エイズ・結核・マラリア対策基金（グローバルファンド）、世界銀行と連携
- 市民社会組織（CSO）の関与に関する、PMNCH（Partnership for Maternal, Newborn & Child Health）および UHC2030 とのパートナーシップ
- 世界保健機関（WHO）、国連、二国間機関との国レベルにおける強力な連携と共同実施
- ・ GFF は、基礎的保健サービス提供体制の強化、パートナーとの連携推進と計画策定、保健財政の効率化を支援するため、2020 年末までの資金として各国に対して最大 30 万米ドルの資金援助を提供している。

### 戦略の改定と今後

最後に、ブレダー事務局長は、GFF の戦略の改定について説明し、今後 5 年間の組織の使命として、「保護 (Protection)」、「促進 (Promotion)」、「加速 (Accelerate)」という 3 つのキーワードを示した。改定版戦略では、以下の 5 点が重点項目と位置付けられる。

- ・ 女性や子ども、青少年のための健康への投資に優先順位を置くため、国のリーダーシップと説明責任を強化する
- ・ サービス提供を再定義し、基礎的な保健サービスを保護・促進する
- ・ 国内資源のより効率的かつ効果的な利用・動員を通じて、より強靱で持続可能なプライマリ・ヘルス・ケア（PHC）システムを構築する
- ・ 公平性とジェンダー平等の推進に向けた取組みを拡大・強化する
- ・ 成果にこだわる姿勢を貫く

### 討議・質疑応答

ブレダー事務局長によるプレゼンテーションの後、参加者 30 名との討議・質疑応答が行われた。

参加者の一人は、低・中所得国においては高度な技術を要するソリューションよりもむしろ基礎的な保健サービスの優先を呼びかけることが重要であり、その点における GFF の役割について質問した。ブレダー事務局長は、GFF が世界銀行との間で COVID-19 による副次的なインパクトに対する注意喚起をするために、基礎的な保健サービスの停滞による超過死亡率の推定値を強調し、基礎的サービスへのアクセスを改善する方策を提唱するためにパートナー組織と協働するなど、重要な役割を果たしたことを説明した。

NGO の参加者は、COVID-19 のパンデミックによって国内資金動員に対する GFF の取組みにどのような影響が与えられているか、と質問した。ブレダー事務局長

は、COVID-19 以前は保健に対する投資の優先順位が著しく低かった多くの国が、パンデミックの対応のため、保健に対する予算を急速に拡大していることを指摘した。さらに、パンデミックによる深刻な影響を受ける脆弱な人々のためのアドボカシー活動において、CSO が重要な役割を果たしていることについても言及した。セミナー参加者の多くが、今後、GFF が世界中の母子や青少年の命を守るためにどのような貢献ができるかについて、大きな期待を示した。